

# 措置実施状況報告書

## 令和3年度分

会 社 名 : 株式会社 中村工務店  
代 表 者 名 : 代表取締役 中村庄吾  
提 出 年 月 日 : 令和4年12月13日

### 担当者連絡先

課・係	-
職・氏名	██████████
電話番号	055-266-3121
メールアドレス	██████████

◎提出㊦切（分割払い期間が5年の場合）

年度	取組の期間	報告㊦切
令和3年度分	令和3年7月29日～令和4年3月31日	令和4年12月31日
令和4年度分	令和4年4月1日～令和5年3月31日	令和5年12月31日
令和5年度分	令和5年4月1日～令和6年3月31日	令和6年12月31日
令和6年度分	令和6年4月1日～令和7年3月31日	令和7年12月31日
令和7年度分	令和7年4月1日～令和8年3月31日	令和8年12月31日
令和8年度分	令和8年4月1日～最終支払日※	令和8年12月31日

※ただし最終支払日が7月29日以前の場合は7月29日

## 1 談合事件を踏まえた、会社の経営理念

当社は、平成23年4月15日に、山梨県が発注する同県笛吹市を施工場所とする石和地区特定土木一式工事について、同業他社と受注予定者を決定し、受注予定者が受注できるようにしていたことが独占禁止法に違反するとして、公正取引委員会から排除措置命令と課徴金納付命令を受け、それに伴い山梨県から違約金の支払いも請求されました。このことは、山梨県をはじめとする各自治体、お取引様各位、株主様各位、従業員とご家族など、関係する多くの皆様に多大なご迷惑とご心配をお掛けする結果となり、当社と致しまして重く受け止め、誠に申し訳なく皆様に深くお詫び申し上げますと共に、心より反省しております。

当社は今後二度とこのような事態を招かないように、全社を挙げてコンプライアンスの徹底に取り組み、再発防止に努めて行く所存であります。

そのために、当社は、コンプライアンスを最優先とする経営の確立のみならず、誠実な企業行動を通して地域とのコミュニケーションに努め、当社の経営資源を活かして、地域貢献に邁進し、防災・減災や雇用の維持・確保等の社会的課題にも積極的に貢献して、地域の皆様から信頼される、ひいては山梨県建設業界、山梨県全体の健全な経済の発展に大いなる貢献をしていきたいと思っております。

※ 当社の経営理念やプロジェクトの詳細については、下記ホームページに記載

<http://www.naka-eco.biz/>

## 2 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律に二度と違反することがないように自発的に講じた再発防止策の報告

(1) 取組期間 令和3年7月29日～令和4年3月31日

(2) 取組の趣旨

- ア 独占禁止法に二度と違反しないために、違反行為の未然防止のための社内体制の整備と継続を実施する。(活動の概要 ア、イ、ウ)
- イ 談合やカルテルが複数当事者による違反行為であることを考慮し、業界一帯になったの再発防止策の取り組みを実施する。(活動の概要 エ)

(3) 活動の概要

- ア 独占禁止法等法令遵守についての社内行動指針の作成と自社従業員への周知徹底
- イ 営業担当者及び従業員に対する法令遵守についての当社独自の勉強会の実施
- ウ 疑わしい行為を監視する担当役員を選任し同人に対する社内通報及び通報者の免責のための規定の作成
- エ 笛吹建設業協会における全会員営業担当者や役員に対する定期的な独占禁止法研修会の実施

#### (4) 主な活動の詳細

##### ① 社内コンプライアンス勉強会

実施日	令和3年8月2日、10月1日、11月2日、12月2日、2月2日、3月2日（17時30分～19時30分）
場所	自社会議スペース
内容	コンプライアンス、CSR（企業の社会的責任）を実践していくための勉強
参加者	従業員
効果、感想 今後への課題	建設業法、独占禁止法、その他の法令等の理解を深めることができた。 コンプライアンス違反に対する厳しい制裁や社会的責任の重さについて確認することができた。

写真



## ② コンプライアンス研修会

実 施 日	： 令和3年11月17日
場 所	： 山梨県建設会館 3F研修室
内 容	： 建設業法令遵守等について。建設業のためのコンプライアンス。
参 加 者	： 従業員（1名）
効 果、感 想 今 後 へ の 課 題	： 専門の冊子による説明で分かりやすかった。 この研修会の内容を従業員に周知徹底した。

写 真



会 員 各 位

一般社団法人 笛吹建設業協会  
会 長 [REDACTED]

### 令和3年度「法令遵守に関する研修会」開催について

標記の件につきましては、平成23年度より『法令遵守』確立のための取り組みの一環として毎年開催しております。

今年度の開催方法は、会場での参加者を限定し、会場参加者以外はオンラインで参加いただくこととなりました。

つきましては、会場での参加者を1名、別紙『会場参加者報告書』にて11月5日（金）までに笛吹建設業協会(FAX番号 055-263-4199)へお願いします。

記

1. 日 時： 令和3年11月17日(水) 13:30～16:00
2. 場 所： 山梨県建設会館3階 研修室  
甲府市丸の内1-13-7 TEL 055-235-4421
3. 会場参加数：30名（内、笛吹建協参加割り当て人数5名）
4. 講習内容： 第1部 建設業法令遵守等について  
（国土交通省 関東地方整備局）  
第2部 建設業のためのコンプライアンス  
（公益財団法人 建設業適正取引推進機構）

### ③ 法令勉強会

実 施 日	： 令和3年10月29日、12月20日、令和4年1月21日、2月21日
場 所	： 笛吹建設業協会 会議室
内 容	： 独占禁止法違反、再発防止について（令和3年10月29日） 独占禁止法の改定と大手企業の措置実施状況の勉強（令和3年12月20日） 独占禁止法の改定と大手企業の措置実施状況の勉強（令和4年1月21日） 独占禁止法について（令和4年2月21日）
参 加 者	： 当社役員 1名
効 果 、 感 想 今 後 へ の 課 題	： 独占禁止法の改定について理解を深めることが出来た。 この勉強会の内容を自社の勉強会でも伝え徹底した。

#### 写 真



#### ④ コンプライアンス研修会

実 施 日	： 令和4年3月22日
場 所	： 笛吹建設業協会 会議室
内 容	： 1、独占禁止法の概要 2、課徴金減免制度導入後の公取委実務の変貌 3、課徴金減免制度運用上の問題点 4、令和元年改正以外の直近の知っておくべき状況 5、違反行為の未然防止のための社内体制整備の不可欠性 6、リスク増大に対する危機意識の必要性とコンプライアンスの継続性
参 加 者	： 当社 2名
効 果 、 感 想 今 後 へ の 課 題	： 独占禁止法の内容について理解を深めることができた。 今回の内容を自社勉強会で伝え徹底した。
写 真	

(5) 経費の報告

分類	金額 (円)	備考
①の経費	322,500	人件費 (コンプライアンス、企業の社会的責任の勉強会) 60名×0.25日間×21,500円/人=322,500円 (8月2日:10名、10月1日:10名、11月2日:10名、12月2日:10名、 2月2日:10名、3月2日:10名)
②の経費	10,750	人件費 (コンプライアンス研修会への参加) 1名×0.5日間×21,500円/人=10,750円
③の経費	171,500	講師費 50,000円/回×3回=150,000円 (2月21日は講師なし) 人件費 (法令勉強会への参加) 4名×0.25日間×21,500円/人=21,500円 (10月29日:1名、12月20日:1名、1月21日:1名、2月21日:1名)
④の経費	60,750	講師費 50,000円/回×1回=50,000円 人件費 (コンプライアンス研修会への参加) 2名×0.25日間×21,500円/人=10,750円
合計	565,500	



### 3 峡東地域において自発的に講じた防災・減災への対策に資する取り組みの報告

(1) 取組期間 令和3年7月29日～令和4年3月31日

(2) 取組の趣旨

- ア 災害時における対応力を強化する。(活動の概要 ア、イ)
- イ 災害が起こる恐れのある危険箇所を事前に発見する。(活動の概要 ウ)
- ウ 災害が起こらないように未然防止活動を実施する。(活動の概要 エ)

(3) 活動の概要

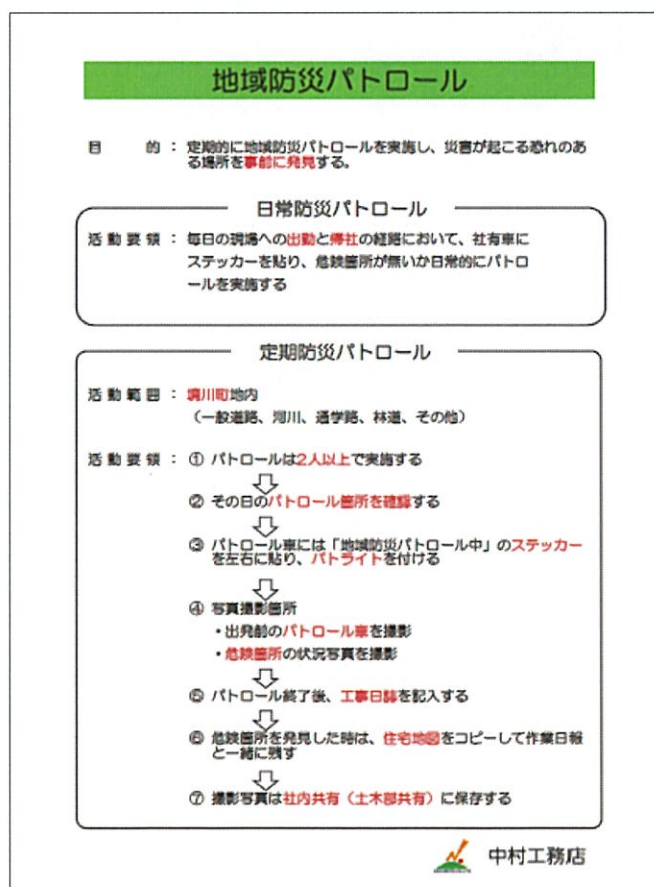
- ア 災害時の備えとして、自社の建設機械の配備、緊急用資材の備蓄及び備蓄場所の整備
- イ 災害時に必要な知識及び技術を習得するための講習会、研修会への積極的な参加
- ウ 危険箇所を事前に発見するためのパトロール活動
- エ 河川内の伐木、清掃などの防災・減災のための活動

## (4) 主な活動の詳細

### ① 地域防災パトロール

実施日	： 令和3年7月29日～令和4年3月31日
場所	： 笛吹市内
内容	： 災害時の危険箇所を発見するため、地域の防災パトロールを日常的に実施
参加者	： 社員、従業員（8名）
効果、感想 今後の課題	： 災害や防災に対する意識を高めることが出来た。 地域のために活動を行っているという意識も感じる事が出来た。

#### 写真



## ② 無線設備の導入

実 施 日 : 令和4年2月

場 所 : 自社社屋

内 容 : 災害時の連絡手段を強化するため、広範囲で繋がる無線設備を導入。

参 加 者 : -

効 果 、 感 想 : 災害時の連絡手段に非常に効果があったと感じた。また、パトロールや調査など日々の  
今 後 へ の 課 題 : 作業の効率化にも利用できると感じた。

写 真



### ③ 災害対策用資材置場、備蓄資材の整備

実 施 日	： 令和3年7月29日～令和4年3月31日
場 所	： 当社敷地内
内 容	： 自社資材置場を整備し、災害時の対応力を強化。
参 加 者	： -
効 果 、 感 想	： 災害時用の資材置場を強化できたと思う。
今 後 へ の 課 題	： 今後は備蓄資材を充実させていきたい。

#### 写 真



④ 災害時や防災減災に必要な講習会、研修会への参加

実施日	： 令和3年9月22日
場所	： 木の国サイト情報館
内容	： 除草機械研修
参加者	： 従業員5名
効果、感想 今後の課題	： 普段何気なく使用している刈払機だが、得ることがたくさんあった。 講習を受けてよかった。

写真

令和 3年 8月 25日			
(株)中村工務店 様			
刈払講習について			
講習会にお申込みいただき、ありがとうございます。			
☆刈払講習 9/22 6名様 会場・木の国サイト情報館 (8時40分受付・9時講習開始)			
☆当日の持ち物			
①マスク・兼防用具			
②ヘルメット・手袋・安全靴			
分からないことがありましたら、ご連絡ください。 よろしく願いいたします。			
講習会名・会場	テキスト代	受講料	計(1名分)税込
刈 払	2,750	9,900	12,650
受講料振込先	講習日の1週間前までにお振込みください		
発信者：			
電話：			
住所：			

⑤ 防災・減災のため、地域の河川、道路の整備活動を実施

実施日	令和3年11月27日
場所	笛吹川 河川内
内容	笛吹市と笛吹建設業協会が合同で笛吹川河川内の樹木の伐採を実施。
参加者	従業員10名
効果、感想 今後の課題	河川内の樹木を除去し、河川の増水時に影響の出る樹木を除去することができた。 今後もこのような活動は必要であると感じた。

写真



会員各位  
 笛吹市沿岸建設安全推進協議会  
 会長 [Redacted]  
 笛吹川河内樹木の伐木実施について  
 (依頼)

晩秋の候、会員の皆様方にはご挨拶のこととお詫が申し上げます。又、貴協議会の選定につきましては日頃よりご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、笛吹市が実施する標記の事業につきまして、本年も協力をする運びとなりました。何かと多忙の事とは存じますが、御協力をお願い申し上げます。なお、弊会と飲石御は用意します。

記

日 程 令和3年11月 27日 (土) 午前8時～  
 午膳日: 令和3年12月4日(土)

作業開始式 午前8時～

作業場所 笛吹川  
 笛吹市石和町・小石和地区  
 (常見橋の上下流の区間)

集合場所 常見橋下流橋床護岸

駐車場 常見橋下付地

作業内容 伐木及び集積・草刈作業等

参加人員・持ち物・作業範囲 別紙参照

追伸 ※参加人数につきましては、県・市の受注を参考にしています。

環境美化活動(笛吹川樹木伐木作業) 割り振り表

地区	グループ長	会社名	人数	台数	台数	台数	台数
石和 白社	御伊沢園土木	[Redacted]	1	1	2	1	1
			2	1	1	1	
			3	1	1	1	
			4	1	1	1	
			5	1	1	1	
一宮 白社	武藤工業部	[Redacted]	6	1	1	1	1
			7	1	1	1	
			8	1	1	1	
			9	1	1	1	
御坂 白社	御目工建設	[Redacted]	10	4	2	1	1
			11	2	1	1	
			12	2	1	1	
			13	1	1	1	
八代 白社	丸崎興業園	[Redacted]	14	1	2	2	1
			15	1	1	1	
			16	1	1	1	
			17	1	1	1	
地川 白社	御上組	[Redacted]	18	1	1	1	1
			19	1	1	1	
			20	1	1	1	
合計			24	19	7	1	1
本日			1				
合			131	37	20	14	

(5) 経費の報告

分類	金額 (円)	備考
①の経費	3,632,640	人件費 (地域防災パトロール実施、朝夕 1時間程度) (21,500円/人×0.12日×8人) × 22日 × 8ヶ月=3,632,640円
	225,280	社有車燃料費 1L × 160円/L × 8台 × 22日 × 8ヶ月=225,280円
②の経費	383,460	無線設備の購入費 デジタルトランシーバー(車載型)1台、デジタルトランシーバー(携帯)6台 他
	70,000	アンテナ設置、配線接続費
③の経費	537,500	人件費 (災害対策用資材置場の整備) 21,500円/人 × 25人=537,500円
	210,000	生コンクリート 14,000円/m <sup>3</sup> × 15m <sup>3</sup> =210,000円
④の経費	107,500	人件費 (除草機械研修) 21,500円/日 × 5人=107,500円
	63,250	刈払講習参加費 12,650 × 5人=63,250円
⑤の経費	215,000	人件費 (笛吹川河川内の樹木の伐採) 21,500円/人 × 10名=215,000円
	30,000	重機0.7m <sup>3</sup> バックホウ 1台 × 1日 × 30,000=30,000円
	10,000	チェーンソー(リース)2台 × 2,000円=4,000円、草刈機(リース)1台 × 2,000円=2,000円、替刃、燃料(購入)=4,000円
	60,000	重機搬入搬出 30,000円/回 × 2回=60,000
合計	5,544,630	

#### 4 雇用の維持、確保、事業の高度化、効率化への積極投資の取り組みの報告

(1) 取組期間 令和3年7月29日～令和4年3月31日

##### (2) 取組の趣旨

- ア 従業員や新規雇用者、地域の方々にとって魅力ある企業となることにより、雇用の維持、確保を図る。 (活動の概要 ア、イ)
- イ 新しい機器やシステムの導入により働きやすさを充実させる。 (活動の概要 ウ、エ)
- ウ 自社保有の重機、機械類を充実させることにより、機動力の強化・作業の効率化を強化する。 (活動の概要 エ)

##### (3) 活動の概要

- ア 雇用の改善（給与、賞与、福利厚生等）により従業員の満足度を高める。
- イ 地域での安全パトロールや社会貢献活動を実施する。
- ウ 事務機器、システム等の設備を充実させる。
- エ 重機、機械、測量機械等を充実させる。



(4) 主な活動の詳細

① 情報共有システムの導入

実施日	： 令和3年7月29日～令和4年3月31日
場所	： 自社
内容	： 情報共有システムを現場だけでなく社内にも導入し、作業の高度化・効率化を高めた。
参加者	： 従業員
効果、感想 今後の課題	： ファイルの共有、掲示板、報告、スケジュールなどの機能により、データの扱い方や情報伝達の幅が広がり作業効率を上げることができた。

写真



## ② 自社建設機械の配備

実施日：令和4年7月29日～3月31日

場所：笛吹市内

内容：自社の建設機械を持つことにより、機動力を強化し、作業の効率化をはかる。  
また災害時において迅速な対応を行う。

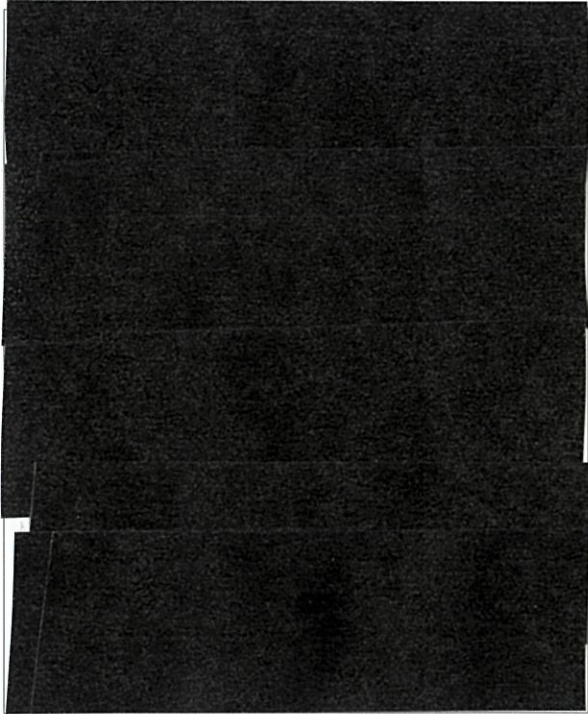


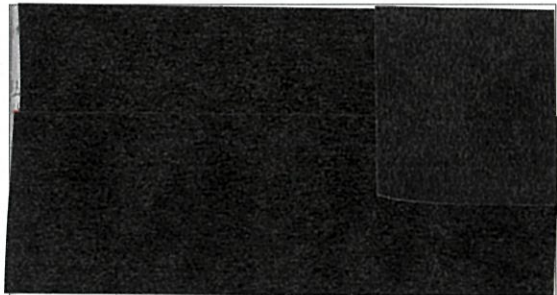
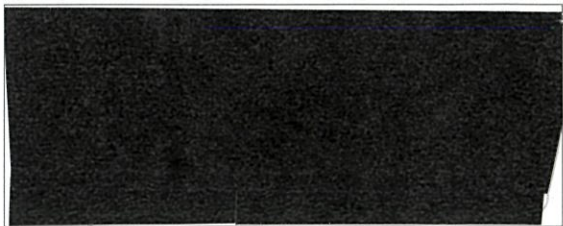

参加者：-

効果、感想：自社所有の建設機械があると、緊急時にも迅速に対応することができる。冬季の除雪  
今後の課題：や災害時には自社所有の機械が必要であるので、今後も自社機械の充実を図りたい。

写真



③ 雇用状況の改善

実 施 日	： 令和3年7月29日～令和4年3月31日
場 所	： 自社
内 容	： 従業員への賞与水準の引き上げ。 従業員を対象とした傷害保険に加入。 年末年始休暇前に従業員に対し食料品等を配布。
参 加 者	： 従業員
効 果 、 感 想 今 後 へ の 課 題	： 従業員のやる気や士気が高まったと感じた。これからも従業員のやりがいや満足度を高めるため福利厚生を手厚くしていく必要性を感じた。
写 真	
傷害保険に加入	年末年始休暇前に食料品配布
	
	
	
	
	

#### ④ 測量機器の導入

実 施 日 : 令和4年2月

場 所 : 自社

内 容 : 高性能測量機器を導入し、作業を効率化する。

参 加 者 : -

効 果 、 感 想 : 従来の機器よりもとても効率的に作業を行うことができ、測量、丁張の作業が今まで  
今 後 へ の 課 題 : と大きく変わった。

写 真



⑤ 電子小黒板の導入

実 施 日	： 令和4年2月
場 所	： 自社
内 容	： 電子小黒板を導入し、現場管理の効率化をはかり、技術者の業務負担を軽減させる。
参 加 者	： -
効 果 、 感 想 今 後 へ の 課 題	： 黒板を持ち歩く必要がなく、事前に複数枚の黒板を機器の中に準備できるため、現場での写真撮影が非常に効率的になった。撮影写真の管理も効率的に行えるようになった。
写 真	

## ⑥ 地域安全パトロール

実 施 日	： 令和3年7月29日～令和4年3月31日
場 所	： 笛吹市内
内 容	： 地域の安全と防犯を目的としたパトロールを日常的に実施。
参 加 者	： 従業員
効 果、感想 今 後 へ の 課 題	： 普段通っている場所も、パトロールを意識して通ると違って見えた。 地域貢献を行うことで自社のイメージアップが図られたと感じている。

### 写 真



### 地域安全パトロール

目 的： 日常的に地域安全パトロールを実施し、地域の安全、防犯に役立つ事を目的とする。  
また、活動を通じて、地域の一員である事を意識する。

——— 日常安全パトロール ———


活動時期： 朝、夕の出勤 帰社の時間帯

活動範囲： 毎日の現場への経路、その他

活動要領： ① 危険箇所や不審者、普段と違った事柄など発見したら  
会社に報告する

② 必要に応じ、記録として写真を撮影し、工事日誌の備考欄に状況について簡単に記入する

③ 撮影写真は社内共有（土木部共有）に保存する

 中村工務店

⑦ 社会貢献活動の実施

実 施 日	： 令和3年7月29日～令和4年3月31日
場 所	： 笛吹市内
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年12月3日、はたらく自動車（石和東小学校）</li> <li>・ 令和3年7月30日、現場見学会（北杜高校）</li> <li>・ 令和3年10月19日、現場見学会（甲府工業高校）</li> <li>・ 令和3年11月19日、現場見学会（都留興譲館高校）</li> <li>・ 令和3年11月29日、現場見学会（北杜高校）</li> <li>・ <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>を通して地元小学校にお便りを提供</li> </ul>
参 加 者	： 従業員
効 果 、 感 想 今 後 へ の 課 題	<p>はたらく自動車では小学生がとても喜び、現場見学会では高校生たちが普段近くでは見ることのできない現場に関心を示していた。このような活動を続けることによって、建設業に興味持ってもらえると感じた。</p>
写 真	

## (5) 経費の報告

分類	金額 (円)	備考
①の経費	165,000	情報共有システム導入費 (会社用、現場用)
	860,000	人件費 (データ更新にかかる労務 平均5人工/月) 21,500円/人×5人×8ヶ月=860,000円
②の経費	1,516,573	維持費 (特定自主検査、車検) バックホウ3台、トラクタショベル2台、トラクタショベル (リース) 1台、トラック1台、ダンプトラック4台
③の経費	7,180,000	従業員への年間の賞与水準の引上げ額
	357,440	従業員への死亡、傷害保険 (損害保険ジャパン)
	194,843	年末年始休暇前に従業員に食料品を支給
④の経費	4,876,520	測量機器 2台
⑤の経費	908,160	人件費 (地域安全パトロール、2名、朝夕 1時間程度) (21,500円/日×2人×0.12日) ×22日×8ヶ月=908,160円
	56,320	社有車燃料費 1L×160円/L×2台×22日×8ヶ月=56,320円
⑥の経費	1,266,870	電子小黑板 5ライセンス
⑦の経費	21,500	人件費 (12月3日、はたらく自動車、石和東小学校) 21,500円/日×1人×1日=21,500円
	21,500	人件費 (7月30日、現場見学会、北杜高校) 21,500円/日×1人×1日=21,500円
	21,500	人件費 (10月19日、現場見学会、甲府工業高校) 21,500円/日×1人×1日=21,500円
	21,500	人件費 (11月19日、現場見学会、都留興譲館高校) 21,500円/日×1人×1日=21,500円
	21,500	人件費 (11月29日、現場見学会、北杜高校) 21,500円/日×1人×1日=21,500円
	90,000	██████████
合計	17,579,226	



## 5 報告した経費の累計

年度	2の経費	3の経費	4の経費	経費合計(円)
令和3年度	565,500	5,544,630	17,579,226	23,689,356
令和4年度				0
令和5年度				0
令和6年度				0
令和7年度				0
令和8年度				0
合計				23,689,356

○公正入札違約金額等

(円)

公正入札違約金額(1)	164,880,128
調停条項で定めた令和3年度内支払い額(2)	8,456,136
調停条項で定めた分割支払い分総額(3)	41,220,032
(1)と(2)及び(3)の差額	115,203,960